

日韓おやじフォーラム in みやぎ

-日韓おやじ宣言-

わたしたちは、シャツのポケットに『おやじ』という言葉一つ偲ばせただけでそれぞれ海を渡り、『おやじ』という名刺を持っているというだけで、上着を脱ぎ、「アンニョンハセヨ!」「やあどうも!」と、懐かしい友だちのように、何年もすぐ目の前にいたお隣さんのように、肩の力を抜いて、心を開いて、日本で初めてのこの「日韓おやじフォーラム in みやぎ」に集うことができました。

韓国には「シジャギ バンイダ 始めが半分だ」ということわざがあるそうです。わたしたちのこのフォーラムが市民レベル、県民レベルの草の根の交流の小さな試みの一つにしかすぎず、現実の山積した家庭や社会問題の解決には全く力不足かもしれないが、それに立ち向かおうとする『おやじ』たちの息づかいだけは感じ取っていただけたような気がします。

ちがった歴史や伝統、異なった文化を生きているわたしたちが、未来を生きていこうとすれば、たがいの文化を心の底から尊重し、違いを受け入れ、理解し、そしてそのことに喜びを持つことこそがととても大切であることを、今感じています。

あしたからはまた海をへだてて、たがいの文化の中で生きていく私たちが、次に会うときにはかならず「チング」「友よ」と呼びあい、ドラマ好きな妻もうらやむように、『おやじ』を肴に美酒（うまざけ）を交わす関係をこれからも続けていくことを宣言します。

2008年2月3日

日韓おやじフォーラム in みやぎ
参加者一同